第 2 支部研修終了報告

悪天候の予報とは一転、爽やかな秋空の下で、10 月 2 日に「福井ハイライト研修〜永平寺・東尋坊・恐竜博物館〜」、10 月 3 日には「伝統を未来へ！杉原商店・越前和紙の里とタケフナイフヴィレッジ〜」が開催されました。

10 月 2 日の福井ハイライト研修は 30 名参加(内会員 23 名、非会員 4 名、講師 1 名、担当 2 名)。参加者は地元北陸に加え北海道、関東、関西、九州からでした。集合場所の福井駅から恐竜博物館、昼食後に永平寺と東尋坊を訪問してから JR 芦原温泉駅での解散でした。
各訪問地、また移動車内での研修は充実したものでした。恐竜博物館では博物館説明員が福井の恐竜博物館設立のいきさつやその特徴を説明してくださり、永平寺では担当の方から永平寺の歴史、建物、修行僧の生活などをお聞きしました。東尋坊では地元のボランティアガイドさんから東尋坊の特徴、伝説などを伺いました。一日をとおして、移動車内では福井県在住 JGA 正会員の講師松本潤子氏から福井についての情報、各訪問地でのツアー時の動線を詳しく説明頂きました。

10 月 3 日の杉原商店・越前和紙の里とタケフナイフヴィレッジ〜研修は 21 名参加(内会員 16 名、非会員 3 名、担当 2 名)で行われました。前日から引き続いての参加者は 11 名。
移動には越前市定額タクシーチケットを利用しました。最初の訪問先は大瀧神社・岡太神社(二つ名前があります)です。独特で複雑な本殿拝殿と立派な石垣を持つ壮麗な神社で紙づくりの神様が祭られています。ここで杉原商店杉原吉直社長から大瀧神社の由緒、祭事、建築の話を伺い、さらに杉原商店の蔵に移動し、和紙に関係する多彩な情報をいただきました。
その後、杉原商店から和紙の里に行きランチを取った後で、「卯立の里」で伝統工芸士から手作業での和紙作りの材料、道具、過程などの説明を受けました。その後の自由時間には各自、越前和紙の里　紙の文化博物館などを訪問しました。最後の訪問地は武生ナイフビレッジで、説明員さんから越前手打ち刃物についての説明を受けた後で施設を見学し手打ち刃物の製造過程を見学しました。ここは越前打ち刃物の若手の作り手たちが資金を持ち寄り建てた熱い思いのこもる施設でした。

以上、ご報告いたします。
第 2 支部担当理事　遠藤昌子　研修担当委員　丹羽やよい